

(別紙)

## 厚生労働省の業務改善事例 (平成22年10月第4週までの報告分)

### ○改善事例1

労災保険の窓口業務改善の取組に関するアンケート調査の実施等

#### 【改善点】

労災保険の申請窓口における対応については、これまでも、申請者へ定期的に処理状況をお伝えするなどの業務改善に取り組んでまいりました。

今般、昨年と同様に10月から12月までの間、申請者等に対するアンケート調査を実施し、皆様からいただいたご意見等を分析した上で、業務改善に反映させていただきます。

また、これまでは、「脳・心臓疾患事案」又は「精神障害等事案」で不支給決定を行った場合、請求された方に対し、不支給決定理由のポイント等を分かりやすく説明するよう努めてきたところですが、あらたに、「決定までに長期間を要した事案（請求書受付後6か月を経過したもの）」で不支給決定となった方についても分かりやすい説明の実施を徹底することとしました。

今後とも、国民の皆様の声を踏まえつつ、更なる業務改善に努めてまいります。

(照会先)

労働基準局労災補償部

補償課企画調整係 (内線 5465)

## ○改善事例 2

### 「キャリア健診」モデル実施企業の募集

#### 【改善点】

「キャリア健診」は、従業員が仕事を通じた成長意欲（キャリア意識）を強く持てる環境づくりのため、企業に人事施策上のヒントを得てもらうことを目的とした事業です。

事業の開始に伴い、モデル企業募集（11月30日まで）について厚生労働省ホームページに掲載したところですが、より多くの企業に知っていただけるよう、パンフレットや募集要綱等をホームページに掲載し、また、本事業の内容をわかりやすくするためにフローチャートも掲載したところです。

なお、モデル実施企業となった場合、社内の人材育成をどのように進めたらいいか等について、無料でキャリア・コンサルタントのアドバイスを受けることができますので、ぜひご活用下さい。

（参考）「キャリア健診」モデル実施企業募集！

<http://www.mhlw.go.jp/topics/2010/10/tp1012-1.html>

（照会先）

職業能力開発局育成支援課企画係（内線 5935）

## ○今週の現場訪問・意見交換 1

日本年金機構中央記録突合センターへの現場訪問

### 【概要】

10月19日、コンピューター記録と紙台帳の突合せ作業など年金記録問題への対応についての実態を把握し、今後の参考とするため、細川厚生労働大臣ほか職員が、日本年金機構中央記録センター（台場）を訪問しました。

現場では、年金記録問題への対応についての概況説明を受けるとともに、事務フロアにおいて、実際に使用する機器によるデモンストレーション等の様子を確認しました。

この突合せ作業は、記録の漏れや誤りを見つけ出し、年金記録の回復につなげるために重要なものであると考えており、今後、この業務がスムーズに行われるよう、適切に対応してまいります。

（照会先）

年金局事業企画課年金記録回復室（内線 3653）

○今週の現場訪問・意見交換 2  
参議院内での献血の現場訪問

【概要】

10月20日、参議院内で献血が実施されました。献血への積極的なご協力に感謝の意を表すとともに、今後も引き続きご協力いただけるようお願いするため、医薬食品局血液対策課の職員が献血現場に立ち会いました。当日は悪天候だったにもかかわらず、102名の方々に献血のご協力をいただきました。今後とも、多くのご協力をいただけるよう献血推進施策の一層の充実を図り、もって安全な血液製剤の安定的な供給に努めてまいります。

(照会先)

医薬食品局血液対策課献血推進係 (内線 2904)

(注) この資料は、厚生労働省内の各部局において実施した業務改善事例や実態把握のための取組の中から、主なものを抜粋し、取りまとめたものです。